



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 F I G株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 4392 URL http://www.figinc.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 雄司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 岐部 和久 (TEL) 097-576-8730
 社長室長
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	5,952	17.5	335	—	344	—	236	—
2020年12月期第2四半期	5,067	7.6	△125	—	△102	—	△202	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 573百万円(—%) 2020年12月期第2四半期 △217百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	8.11	7.99
2020年12月期第2四半期	△7.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	18,840	8,769	45.8
2020年12月期	15,294	8,311	53.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 8,624百万円 2020年12月期 8,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	6.4	500	—	468	—	294	73.8	10.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期 2 Q	31,176,015株	2020年12月期	31,084,515株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	1,918,274株	2020年12月期	1,918,220株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期 2 Q	29,190,526株	2020年12月期 2 Q	28,766,338株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における売上高は5,952百万円（前年同期比17.5%増）、営業利益は335百万円（前年同期は125百万円の営業損失）、経常利益は344百万円（前年同期は102百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は236百万円（前年同期は202百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

情報通信事業はストックビジネスの拡大により業績好調を維持し、業績不振が続いていた装置等関連事業についても業績回復の兆しが見えてまいりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 情報通信事業

既存のフロー&ストック（モノ売りからのサービス展開）のビジネスモデルから月額定額化（完全ストック化）へのシフトを推進した結果、新型コロナウイルス禍にあってもストックビジネスは拡大しております。得意とする公共交通を中心としたペイメントサービスや地方自治体の防災情報ネットワークとして業務用IP無線システムiMESHが採用されるなど、新規導入が好調に推移しました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等の再発令により、ホテル向けマルチメディアシステムの新規案件が苦戦をしておりますが、当連結会計年度の後半からは徐々に回復基調になると予想しております。

この結果、外部顧客への売上高は3,587百万円（前年同期比16.4%増）、営業利益は495百万円（同46.9%増）となりました。

② 装置等関連事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響等により業績不振が続いておりましたが、売上高は回復基調であり、利益面においても工程管理や原価管理とともに工場稼働率の改善を徹底してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は2,365百万円（同19.1%増）、営業利益は137百万円（前年同期は230百万円の営業損失）となりました。

③ 新規事業

「新規事業」は、主にマンション等の不動産賃貸事業であり、本書提出日現在においては該当の賃貸用マンションを建設中の為、当第2四半期連結累計期間における収益計上はありませんが、経費が先行して計上されたことにより営業損失は2百万円（前年同期は計上なし）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、18,840百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,545百万円増加しました。これは主に現金及び預金が289百万円減少したものの、建設仮勘定が2,030百万円増加したこと及び投資有価証券が518百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、10,071百万円となり、前連結会計年度と比べ3,087百万円増加しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が107百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が788百万円増加したこと及び短期借入金が2,207百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、8,769百万円となり、前連結会計年度と比べ458百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が337百万円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が90百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、2,019百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、支出した資金は323百万円（前年同期は29百万円の支出）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費及び仕入債務の増加によるものであり、主な減少要因は、売上債権の増加及びたな卸資産の増加であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は2,213百万円（前年同期は252百万円の支出）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出及び無形固定資産の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は2,235百万円（前年同期は58百万円の収入）となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加であり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,341	2,052
受取手形及び売掛金	2,200	3,057
リース投資資産	1,898	1,959
たな卸資産	1,840	2,316
その他	205	288
貸倒引当金	△25	△27
流動資産合計	8,461	9,647
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,709	1,709
建設仮勘定	912	2,942
その他(純額)	1,584	1,543
有形固定資産合計	4,206	6,195
無形固定資産		
のれん	406	391
その他	446	435
無形固定資産合計	852	827
投資その他の資産		
投資有価証券	574	1,092
繰延税金資産	135	19
長期未収入金	886	886
その他	192	186
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	1,774	2,170
固定資産合計	6,833	9,193
資産合計	15,294	18,840
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	963	1,751
短期借入金	1,625	3,832
1年内償還予定の社債	316	316
1年内返済予定の長期借入金	811	704
未払法人税等	223	129
未払消費税等	83	83
賞与引当金	51	67
製品保証引当金	21	25
その他	628	570
流動負債合計	4,725	7,481
固定負債		
社債	33	25
長期借入金	1,926	2,242
役員退職慰労引当金	78	43
退職給付に係る負債	107	117
繰延税金負債	89	138
その他	22	21
固定負債合計	2,257	2,589
負債合計	6,983	10,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,012
資本剰余金	3,839	3,852
利益剰余金	2,739	2,830
自己株式	△455	△455
株主資本合計	8,123	8,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	382
為替換算調整勘定	△0	2
その他の包括利益累計額合計	44	384
新株予約権	126	131
非支配株主持分	17	13
純資産合計	8,311	8,769
負債純資産合計	15,294	18,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	5,067	5,952
売上原価	3,930	4,333
売上総利益	1,136	1,619
販売費及び一般管理費	1,261	1,284
営業利益又は営業損失(△)	△125	335
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	7	8
補助金収入	32	14
その他	7	4
営業外収益合計	48	27
営業外費用		
支払利息	12	15
為替差損	7	—
固定資産除却損	3	0
その他	0	2
営業外費用合計	24	18
経常利益又は経常損失(△)	△102	344
特別損失		
段階取得に係る差損	10	—
特別損失合計	10	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△112	344
法人税、住民税及び事業税	88	103
法人税等調整額	6	8
法人税等合計	94	111
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△207	232
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△202	236

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△207	232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58	337
為替換算調整勘定	7	4
退職給付に係る調整額	40	—
その他の包括利益合計	△9	341
四半期包括利益	△217	573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△214	577
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△112	344
減価償却費	219	196
のれん償却額	16	32
段階取得に係る差損益(△は益)	10	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	2
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	43	—
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△9	3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	7	15
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△0	△34
受取利息及び受取配当金	△8	△8
支払利息	12	15
補助金収入	△32	△14
固定資産除却損	3	0
売上債権の増減額(△は増加)	133	△845
たな卸資産の増減額(△は増加)	△345	△476
仕入債務の増減額(△は減少)	441	788
リース投資資産の増減額(△は増加)	△220	△61
その他	△172	△100
小計	△3	△131
利息及び配当金の受取額	8	8
利息の支払額	△12	△18
補助金の受取額	22	19
法人税等の還付額	9	19
法人税等の支払額	△53	△220
営業活動によるキャッシュ・フロー	△29	△323
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11	△10
定期預金の払戻による収入	27	—
有形固定資産の取得による支出	△137	△2,105
有形固定資産の売却による収入	5	0
無形固定資産の取得による支出	△122	△78
投資有価証券の取得による支出	△1	△25
投資有価証券の売却による収入	—	1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△20	△2
その他	7	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△252	△2,213
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	193	2,207
長期借入れによる収入	300	530
長期借入金の返済による支出	△281	△347
社債の償還による支出	△8	△8
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△143	△145
リース債務の返済による支出	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	58	2,235
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△223	△299
現金及び現金同等物の期首残高	2,021	2,318
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,798	2,019

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限、不要不急の外出やイベントの自粛要請等により、当社グループの情報通信事業においては、サービス提供先であるバスやタクシーの需要減少及び宿泊需要減少の影響を受けております。また、装置等関連事業においても、自動車関連産業の生産調整等の影響により、納品及び検収の遅延や商談の延期が発生しております。

この状況は今後も一定程度継続するものと仮定しており、当連結会計年度末にかけて緩やかに回復していくものと想定しております。当第2四半期連結累計期間における会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損会計の適用等）についてはこの仮定を加味した予測数値により実施しております。

当社グループは、情報通信事業においてバスやタクシー事業者向け及びホテル事業者向けのサービスを展開しており、定額制システム利用の契約は順調に拡大しているものの、今後の経過によっては、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。また、装置等関連事業においても、商談の延期や、顧客の受入検査体制次第では納品及び検収時期に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	情報通信事業	装置等 関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,081	1,985	5,067	—	5,067
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	40	40	△40	—
計	3,081	2,025	5,107	△40	5,067
セグメント利益又は損失(△)	337	△230	106	△232	△125

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△232百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	情報通信 事業	装置等 関連事業	新規事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,587	2,365	—	5,952	—	5,952
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	36	—	36	△36	—
計	3,587	2,401	—	5,988	△36	5,952
セグメント利益又は損失(△)	495	137	△2	629	△294	335

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△294百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。